


様へ

説明医師  
説明看護師(外来)  
看護師(病棟)

月日	月 日	月 日	月 日
経過	入院日(手術前日)	当日(術前)	当日(術後)
目標	手術に対する不安を伝えることができ、最小限となる		性器出血が少量で新たな出血がみられない
検査	身長体重を測定します		血液と尿の検査を行います
食事	2 1 時以降は絶飲食となります	絶飲食です ※経口補水液は麻酔科医の指示で服用	
	朝食は自宅で		朝食から流動食となります
処置・観察	体温・脈拍・血圧 酸素飽和度を測定します 排尿後に膀胱内の残尿量を測定します(2回) リストバンドを装着します お臍の処置と除毛を行います 弾性ストッキングのサイズを測り、お渡しします  夕食後に浣腸をします	朝 7 : 0 0 頃に浣腸をいたします 午前中に診察があります 手術室で尿の管を挿入します	術後酸素マスクがついています  手術後は頻回に体温・脈拍・血圧を測定します
	点滴・内服	持参薬、お薬手帳を看護師にお渡しください  就寝前に下剤を服用します	必要時、手術前に点滴を行います  点滴用の針を挿入します
行動	制限ありません  シャワーできます  オムツ、ナプキンをお預かりします	洗面後、手術着に着替えてください 弾性ストッキングを履いてください  時間になれば手術室にご案内します	手術後の点滴があります  ※痛み、むかつきなどがあれば看護師に申し出てください
	説明	手術に必要な物品を確認します(ナプキン、開きオムツ1枚) 医師より説明(外来) ・手術と治療計画について 麻酔科医師より説明 ・麻酔について 看護師より説明 ・入院生活について ・尿量測定方法について  薬剤師より説明 ・持参薬確認 ・使用薬剤について	看護師より説明 ・早期離床の必要性について  ※許可あるまで ウォシュレット使用禁止

**\* 入院に際して、この用紙を必ずお持ちください**

\* 入院時に栄養状態を評価して栄養管理計画を立てます。定期的に栄養状態の再評価を行い計画を見直します。  
 \* この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により、予定通りではないこともあります。

月日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
経過	2 日目	3 日目	4 日目	5 日目	退院日 (6 日目)
目標	性器出血が少量で新たな出血がみられない 排ガスがある 排便がある 創部痛が緩和し、苦痛が最小限で経過する			カテーテル抜去後、尿意があり残尿が 50ml 以下となる排尿時痛、残尿感、発熱がみられない 退院後の生活上の注意点が理解できる	
検査				 血液の検査を行います	
食事	朝食から五分粥食となります	朝食から全粥食となります	朝食から普通食となります		診察の結果、問題なければ朝食後退院となります
	  	  	  	  	
処置・観察	 体温・脈拍・血圧 酸素飽和度を測定します  尿管を抜去します 排ガスがなければ腸を動かす注射をします  排便がなければ下剤を服用する事があります  点滴終了後針を抜きます	 便通がない場合浣腸をいたします  尿量測定をします → 抜去後排尿のたびに尿量を計り、看護師に伝えてください			 診察をします  退院時にリストバンドを外します
	 点滴が朝にあります				
行動	 歩行できます   発熱がなければシャワーできます(シャワーが無理な場合は看護師がシャンプーします)		  シャワーできます		 退院となります  シャワーできます(入浴は主治医の許可が出るまでできません)
			 看護師より説明 ・排尿時の腹圧のかけ方について (パンフレットに沿って説明)		 医師より説明 ・退院後の治療について   看護師より説明 ・退院後の療養生活について

